



地域の復興に貢献する 石巻ブロック災害廃棄物処理業務 現場だより

鹿島・清水・西松・佐藤・飛島・竹中土木
・若築・橋本・遠藤 特定共同企業体
石巻ブロック災害廃棄物処理業務JV事務所
〒986-0841 石巻市雲雀野町2-15-3
TEL 0225-23-7701 FAX 0225-23-7707

2012年9月3日発行 第9号 (毎月1回発行)

最後の焼却炉が完成!



夕暮れに浮かぶ5基の焼却炉



8月7日、最後に完成したM1 焼却炉の安全祈願を執り行いました。

建設が続いていたM1焼却炉(三菱重工・環境化学エンジニアリング製1号炉)の完成に伴って、8月7日に工事関係者にて安全祈願を執り行い、いよいよ5基すべての焼却炉が完成いたしました。M1焼却炉は今後、荷試運転を行い、9月上旬には先に完成している他の焼却炉同様、本格稼働を開始する予定です。

全5基の焼却炉が本格稼働すれば、1日あたり約1500t(300t/日×5基)の可燃物の焼却が可能となり、待ちに待った国内最大級の仮設焼却施設が動き出すこととなります。

非常に短かく厳しい工期にもかかわらず、完成までご尽力いただいた皆さんに心より感謝いたします。



働く機械シリーズ⑦ フォーク

現場内にて、廃棄物の積込や選別作業に活躍しているのが、通常バックホウとして使用されている本体に「フォーク」と呼ばれるくちばしのようなアタッチメントを取り付けた重機です。

中には目玉が書かれて恐竜のような顔をしたユニークなデザインのものもあります。



土壌洗浄設備ってなに?

土壌洗浄設備Aでは、破碎選別ヤードにて選別した土砂(細粒分)を洗浄して、再利用できる礫・砂と廃棄物とに分別しています。

また土壌洗浄設備Bでは、津波堆積物のうち特定有害物質(重金属)や油分により汚染された土、塩分や有機物などが付着しているものについて洗浄の上、礫・砂と廃棄物に分類します。

どちらの設備も、廃棄物を少しでも多く再利用しようという目的により設置されています。

場内の処理施設を紹介します

巨理処理区への搬出が始まりました



宮城県内でも廃棄物の処理が比較的順調に進んでいる巨理処理区にて、石巻ブロックの廃棄物を4万5千t受け入れていただけることになりました。

関係者や報道陣が見守る中、8月9日に南境一次仮置き場よりフレコンバックに入った120tの廃棄物が搬出され、県内連携処理の第一歩を踏み出しました。



石巻川開き祭りに参加いたしました

8月1日、石巻市に本格的な夏の到来を告げる「石巻川開き祭り」の縄張神社神輿に、JVの有志が参加いたしました。

炎天下と地元みこし会メンバーの迫力に圧倒されましたね。

- 9月の主な予定—
- 9/3 全国安全衛生週間準備月間安全大会・防災訓練
 - 9/5 鹿島東北支店安全パトロール
 - 9/6 石巻市生活環境部視察
 - 9/11 石巻市議会環境委員会視察
 - 9/21 土木学会地震工学委員会視察 UCL A環境施設視察団
 - 9/27 暴排・災害防止協議会
 - 9/28 ASEAN視察団

JV職員紹介

- ①出身地 ②主な職歴 ③趣味・特技 ④抱負
- ①埼玉県
 - ②不動産開発計画・事業 土壌汚染調査・対策 環境アセスメント 他
 - ③バイク、自転車
 - ④13年前に見た牡鹿半島や雄勝のきれいな風景が忘れられません。石巻の復興に少しでも貢献できるよう、今までの経験を生かし、精一杯頑張りますので見ていただきます!



次長 松原武志



次長 是石龍造

- ①山口県防府市
- ②広島大学跡地土壌汚染対策工事、岩国飛行場遊水地埋立工事などに従事
- ③山歩き(草花やきのこを写真に撮って歩くこと東北勤務の現在では中断しています)
- ④作業員の方々が安全に作業を進めていただけるよう安全管理を行い、一日も早い震災廃棄物の処理に役立つよう努力してまいります。